



戸田市内各地に続々



横断歩道・信号機新設!!

美笹中学校前丁字路に歩行者用信号機新設!!



美笹中学前丁字路

このとあそう和英市議

あそう和英市議から「美笹中学校前丁字路に歩行者信号機を設置してほしい」とのご相談を頂いておりました。警察行政は県議会の管轄であるため、**この**はすぐに警察に要望を提出しました。

その後、協議の末、2024年3月に歩行者用信号機が2箇所（東西方向）新設されました。

戸田公園駅西口信号機の時間延長!!



このと野澤しげまさ市議

本町2丁目交差点

野澤しげまさ市議より、「本町2丁目交差点の歩行者用信号機がすぐ赤信号に変わってしまう。青信号の時間を延長してほしい」と本町2丁目交差点に信号機延長のご相談を頂いており、**この**から警察に対し設置を要望しました。その後、協議の末、2024年3月に青信号の時間が4秒間延長されました。

県政報告
特大号



埼玉県議会議員
無所属県民会議

ももこ
この桃子

【経歴】 昭和58年3月2日生まれ、新曽小学校、頌栄女子学院中学校・高校、慶應義塾大学、慶應義塾大学大学院法務研究科（法務博士（専門職））、内閣府非常勤職員、国会議員公設秘書、戸田市議会議員（1期2期、連続トップ当選）、埼玉県議会議員（1期、戸田市初の女性県議として当選 2期、歴代最多得票でトップ当選）
【所属】 政党無所属
【資格】 保育士、防災士、全国手話検定1級、書道師範、FP3級、2児の母





市民の皆さんからのご意見に ひとつひとつ対応しています。

皆さんからご意見を頂き、現地を確認した上で、私から警察や埼玉県庁・戸田市役所に対応を要望します。皆さんもお気づきの際は、写真と現地の場所を明記の上、ご連絡ください。
できることとできないことがあります、少しでも戸田市が良くなるように取り組みます。



【討議資料】

担当課と対応
を協議中！



かけはし特別支援高等学校周辺に横断歩道新設！！



佐藤太信市議とこの

周辺交差点

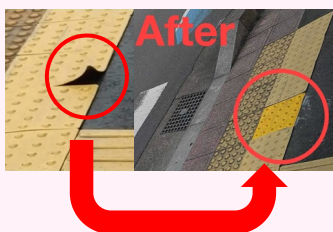
JR 戸田駅高架下

佐藤太信市議から「保護者の方より、かけはし特別支援高等学校周辺に歩行者用信号機を設置してほしい」
とご相談を頂いており、**この**は2022年10月から警察に対し要望を続けて参りました。
その後、協議の末、2024年3月に通学路に横断歩道が2箇所新設されました。

皆さんからのご意見対応



笹目二丁目交差点にある点字ブロックが剥がれそうで危ない



私からすぐに市の担当課にお伝えし、現場の確認と修繕を要望し、補修を行っていただきました。危険な転倒事故が起こる前良かったです。



自宅に何度も不審な電話がかかってきて怖い
警察にどうにかしてほしい



※イメージ写真です

私からすぐに警察に連絡し、翌日には周辺地域のパトロール及びパトロールカードの配布を実施していただきました。その後、警察より、ご意見頂いた方から状況について直接お話を伺うことが出来たということです。



埼玉県議会議員

無所属県民会議
戸田支部

この桃子



皆さまの声を募集しています！“埼玉県”や“戸田市”に関する様々なご意見・ご要望をお聞かせください。

〒335-0023 戸田市本町1-21-8-1F TEL・FAX：048（235）5358

ホームページ：https://konnomomoko.com メールアドレス：info@konnomomoko.com



この桃子
ホームページ



facebook

地元の課題 (一部紹介)

都市計画道路本町通線整備

部長
答弁

若松町一丁目交差点は、変則な形状の5差路であり、交差点の北側には右折帯が無いため、大型商業施設方面に向かう多くの右折車両により渋滞が発生しています。

この区間について、令和4年度から市道の管理者である東松山市と交差点形状などに関する協議を進めており、引続き、地元東松山市と連携しながら、右折帯等の整備に向けて検討を進めてまいります。



安藤川の未改修区間の整備と船原橋の架換え

部長
答弁

令和5年度は、船原橋周辺の水路移設に向け、川島町と協議を進め、今後は、橋梁の詳細設計を実施します。引続き、地元川島町と連携しながら、安藤川の整備と船原橋の架換えに向けて取組んでまいります。



市野川(吉見地区)の整備の見通し

部長
答弁

市野川では、荒川合流点から約7.9kmまでの整備が、吉見町大串地区の約500m区間を除き、完了しています。未整備区間につきましては、一部境界が確定しないため、用地が取得できない箇所があることから、まとまって用地が確保できた箇所から、順次工事に着手してまいります。



ご意見・ご要望大募集!

みなさんの声を直接県政に反映させたいと考えております。苦情や批判、要望だけではなく建設的な意見、ご提案をお聞かせ下さい。



発行

無所属県民会議

埼玉県議会議員

松坂喜浩

〒355-0016 東松山市材木町19-28

※道路拡張工事に伴い、事務所が移転となりました。

TEL 0493-81-7638 FAX 0493-81-7663

E-mail matsuzaka@m4416.jp

ホームページ <https://matsu-yoshi.net/>

ブログ <https://ameblo.jp/m-yosshy/>



ホームページ



ブログ



無所属県民会議

埼玉県議会議員

まつざか

松坂よしひろ

県議会ジャーナル

第35号

令和6年4月発行

特集 2月定例議会報告 ほか

議会
報告

2月定例議会報告 (2月20日~3月27日)

令和6年度当初予算審査(新たな新規事業)

気候変動やコロナ禍の経験を踏まえた持続可能な社会経済の構築に向けて。

- ◆令和6年度一般会計予算を可決 2兆1,197億3,800万円
- ◆令和5年度一般会計補正予算(6)を可決 319億5,822億円
- ◆令和5年度一般会計補正予算(7)を可決 減額632億862万円

地元の課題

- ・都市計画道路本町通線整備
- ・安藤川の未改修区間の整備と船原橋の架換え



西第12区

(川島・吉見・東松山)

6月定例会は
6/17(月)開会

知事から提出された議案は、予算21件、補正予算16件、条例改正23件、契約の締結2件、計画の策定2件、経費の負担3件、人事議案5件、議員提出意見書10件、条例改正1件等です。

埼玉県は、今、人口減少・超少子高齢社会の到来、激甚化・頻発化する自然災害などへの危機対応という、時代の転換期における2つの歴史的課題に直面しています。気候変動やコロナ禍の経験を踏まえた持続可能な社会経済の構築など、社会の変革を求めるニーズはこれまで以上に高まっており、このような課題に的確に対応していく必要があります。

2月定例会で審査された令和6年度当初予算では、「日本一暮らしやすい埼玉」

の実現に向け、限りある財源を重点的に配分した予算編成となりました。

また、2月補正予算は、国の「デフレ完全脱却のための総合経済対策」に基づく補正予算に迅速に対応し、防災・減災、国土強靱化の推進を図るための補正予算となりました。

私の施策の柱として「未来へ繋ぐ持続可能な郷土・いのちと暮らしを守る政治」を基本に、引続き誰もが生き生きと安心して暮らせる埼玉県づくりに全力で取組んでまいります。



一般質問に登壇しました
(3月1日(金))

「令和6年能登半島地震」が発生してから3か月が経ちました。

改めて、亡くなられた方々に哀悼を捧げさせていただきますとともに、被災された方々に対し、心からお見舞いを申し上げます。

被災地では復旧・復興が進められているものの、今なお避難所での生活を余儀なくされている方々が多くいらっしゃいます。被災者の方々が一日も早く日常の生活を取り戻すことができるよう、埼玉県として今後とも可能な限りの支援を行ってまいります。

令和6年度当初予算 (主な新規事業)

AYA世代終末期在宅療養支援事業

1,343万円

AYA世代の終末期がん患者が自宅で安心して療養生活を送ることができるよう、在宅療養に必要な生活支援費用の助成を行い、患者及びその家族の介護及び経済的負担の軽減を図ります。

訪問介護・訪問入浴介護・福祉用具貸与・・・市町村助成額の1/2

松坂よしひろの一般質問でも取り上げました。

※AYA(アヤ)世代: Adolescent&Young Adult(思春期・若年成人)の頭文字で、15歳から39歳の世代を指す。

私立高等学校に通う世帯の父母負担軽減補助を実施(拡充)

155億1,736万円

全国上位の補助を実施(授業料、入学金、施設費等)、県内授業料平均額まで補助上限額を上げます。

事業概要

私立学校父母負担軽減事業補助

223億2,367万7,000円

私立学校に通う世帯の父母負担軽減補助を実施 拡充

- ① 高等学校・・・155億1,736万1,000円
 - ・全国上位の補助を実施(授業料、入学金、施設費等)
 - ・県内授業料平均額まで補助上限額を上げ
 - ・家計急変世帯に対しては補助上限額を超える授業料等を補助
- ② 幼稚園・・・56億4,207万円
 - ・幼児教育の無償化を実施
 - ・家計急変世帯に対しては無償化上限額を超える保育料を補助
- ③ 専修・各種学校・・・10億9,793万3,000円
 - ・380万円未満世帯への補助を実施(授業料、入学金)

● 新規・拡充内容

高等教育修学支援新制度の支援対象 拡充
380～600万円未満世帯(多子世帯又は理工農系学科)を補助対象に追加

- ④ 小・中・特別支援学校・・・2,358万3,000円
 - ・小・中学校では家計急変世帯に対して授業料補助

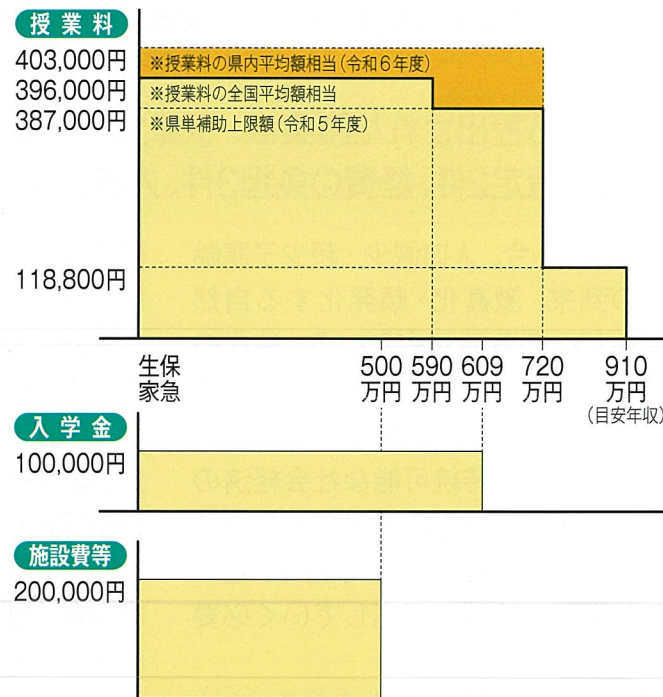
私立幼稚園等特別支援教育費補助

12億6,028万円

- ・障害のある子どもを受け入れる幼稚園に対する補助を実施 拡充
- ・子どもの発達カウンセリング支援事業(再掲)とあわせて幼稚園に対する補助を充実し、幼稚園での受入れを促進

- 新規・拡充内容 補助単価の増額 拡充・・・78万4,000円(+39万2,000円)
受入れ人数が1人の場合の補助単価を増額

令和6年度 父母負担軽減事業補助 (全日制高等学校)



一般質問で取上げた項目です

- 埼玉版スーパー・シティプロジェクトと移住促進
- 埼玉県立高校の共学化について
- 障害者支援
 - ・発達障害児への支援
 - ・生活介護事業所への支援
 - ・精神障害者保健福祉手帳2級所持者の医療費無償化

- がん対策について
 - ・がん患者の雇用促進
 - ・医療用ウィッグや乳房補正具等の購入費用に対する助成
 - ・がん検診の受診率向上
 - ・在宅療養を行うがん患者への支援
- 看護師・准看護師への支援
- セルフ・ネグレクトについて

- 地元の課題
 - ・九十九川及び新江川の整備
 - ・市野川の整備
 - ・安藤川の整備と県道鴻巣川島線船原橋の架換え
 - ・都市計画道路本町通線の整備

地方創生の要となる埼玉版スーパー・シティプロジェクト

松坂 質問 市町村の持続可能なまちづくりを支援する「埼玉版スーパー・シティプロジェクト」に本年度新たに17市町がエントリーし、プロジェクトに取組む市町は46となり、未エントリーの17市町村もプロジェクトに取組む意向があると伺っている。しかし、未エントリー団体における課題として、進め方や適切な取組が分からないなどの「ノウハウ不足」のほか、「職員不足」、「財源不足」が挙げられている。県として、市町村に対して、きめ細やかな、寄り添った支援が必要と考える。

踏まえ、利用しやすいスキームを盛り込むこととし、新たな市町村支援として、高齢者や子どもを地域で見守るコンパクトなまちづくりを進める子ども支援活動拠点の整

備などに対する補助制度を創設するほか、市町村事業と連携することにより相乗効果が期待できる県道や、水辺の整備などの県事業を実施することとしている。



埼玉版スーパー・シティのイメージ

知事 答弁 令和6年度当初予算においては、既にエントリーした団体の事業傾向を

がん対策について

松坂 質問 18歳から39歳までのがん患者は、介護保険の対象にならず、在宅での療養に対する公的支援制度がない状況である。県は、この介護保険サービスを利用できない世代のがん患者にヘルパー派遣など在宅療養に必要な費用の支援を行うべきと考える。

部長 答弁 18歳から39歳までのがん患者は、公的支援制度の狭間にあり、経済的な負担が大きい。在宅での療養がなかなか進んでいないという現状がある。この世代の終末期患者の在宅医療の希望が叶うよう、訪問介護や福祉用具の購入費等にかかる費用を

助成する市町村に対して補助する事業費として、必要な経費を令和6年度当初予算に計上した。県内すべての市町村において、この事業が実施され、どこに住んでも同様の支援が受けられるよう取り組む。



埼玉県議会議員(無所属)

無所属県民会議

まつざか
松坂よしひろ県議会ジャーナル
号外
令和6年7月発行無所属
県民会議

「無所属県民会議」について

わたしたち「無所属県民会議」は、政党に属することなく県民本位の視点に立ち、謙虚な姿勢と柔軟な発想をもって郷土の持続的発展を志す、「たたかう政策集団」です。

地方創生・行財政改革特別委員会報告

◆ 移住促進について

私の所属する特別委員会では魅力ある地域づくりについての審査があり、私から「住むなら埼玉・農ある暮らし」について提言しました。

埼玉県は2025年での高齢化率が約28%、2045年には約45%を超えることが予測されます。若年層の定住意識の低さへの懸念も含め、高齢化が深刻

化します。

今後は特に子育て世代向けの移住促進プロモーション等の実施、「住むなら埼玉」官民連携協議会を設立し、民間企業・団体、市町村と連携し、オール埼玉(私の地元)で移住・定住を促進してまいります。

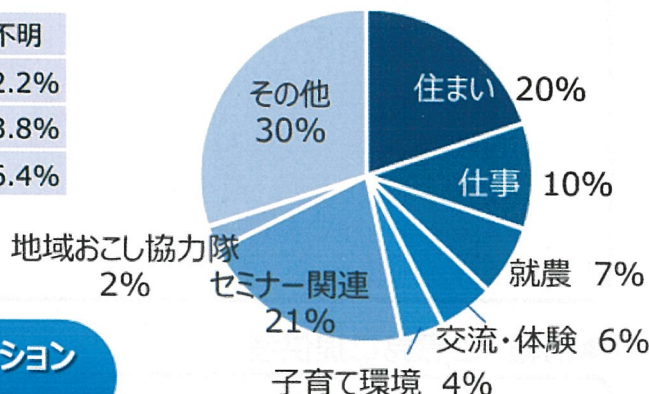
移住相談者の年代(R3~R5)

※「住むなら埼玉」移住サポートセンターにおける相談

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	不明
R3	0.9%	13.7%	21.3%	22.0%	21.1%	7.0%	1.7%	12.2%
R4	0.0%	14.2%	22.5%	21.9%	15.3%	9.6%	2.6%	13.8%
R5	0.1%	13.0%	16.9%	21.7%	19.6%	9.1%	3.2%	16.4%

- 住まい、仕事など多岐にわたる相談内容
- 相談者のボリュームゾーンは20~40代

移住相談内容内訳(R5)



- ・20~40代の子育て世代をターゲットとしたプロモーション
- ・民間事業者、市町村など幅広い連携

県政報告会の実施

7月6日(土)に松山市民活動センターにて県政報告会を開催させて頂きました。テーマとして埼玉版スーパー・シティプロジェクトと移住促進、がん対策、地元問題等々を報告させて頂きました。

また、ご来場の皆様方より数多くのご要望等を寄せて頂きましたことに感謝申し上げ、鋭意努力してまいります。



無所属県民会議
埼玉県議会議員
松坂喜浩

〒355-0016 東松山市材木町19-28
TEL 0493-81-7638 FAX 0493-81-7663
E-mail matsuzaka@m4416.jp
ホームページ <https://matsu-yoshi.net/>
ブログ <https://ameblo.jp/m-yosshy/>

ホームページ



ブログ



発行

川島

吉見

東松山

「地域の声」

リサーチシート

みなさんのご意見やご要望、
県政に対するお考えをお聞かせください。

埼玉県議会議員

まつざか
松坂よしひろ

■東松山事務所

〒355-0016 東松山市材木町19-28
TEL 0493-81-7638 FAX 0493-81-7663
E-mail matsuzaka@m4416.jp
ホームページ <https://matsu-yoshi.net/>
ブログ <https://ameblo.jp/m-yosshy/>

ホームページ



内容

☐ 要望

☐ 質問

☐ 提案

☐ ご意見一般

☐ その他

●情報・ご意見ご提供者

ふりがな

お名前

お電話

ご住所 〒

※ 政務活動との時間的兼ね合いから、返事にお時間を頂戴することもございます。何卒ご了承ください。

座談会・ミニ集会も開催しています！

数人がお集まりいただけたら座談会・ミニ集会にお伺いします。質問や要望、県政への提言など、皆さまと共に考え、お答えいたします。お気軽に事務所へご連絡ください。

各駅での駅頭懇談(高坂・東松山・森林公園)でも！

質問・要望・提言・相談など、何でもお聞かせいただいています。遠慮なくお声がけください。